



同窓会だより

令和3年4月26日

令和3年度・学校創立全日制110・定時制70周年の年度が始まりました。

学校創立全日制110・定時制70周年の年度が始まり、1か月を過ぎようとしています。同窓会報でもご案内しましたが、記念式典と記念講演会を10月30日（土）午前中に開催予定です。野沢北高校との統合が決定しておりますので、周年事業は今回が最後になる可能性大です。大勢のご参加をいただき、旧交を温め、長い歴史と輝かしい伝統などを回顧し、学校づくりに心血を注いで尽力された関係者に感謝の意を表し合いたいと存じます。

この記念すべき年の入学式が、去る4月7日に挙行されました。

コロナ感染拡大防止のため、来賓は同窓会長とPTA会長2名のみでした。

今回は、その折の式辞やご挨拶などを紹介させていただき、力強く本校の令和3年度の出発ができた報告をさせていただきます。



中島入学式に臨む瑞枝同窓会会長



生徒宣誓を受ける井出豊彦学校長

《井出豊彦学校長式辞》

自分で選んだ高校、自分からという行動を大事に。真剣に誇りを持って学び行動しましょう。勉強・部活動どちらも緩めることなく取り組んで欲しい。統合新校には、皆さんの力をお借りしたい。

《生徒宣誓》

高校生活への決意や希望が、力強く明確に述べられた。新鮮で頼もしいものであった。



《保護者代表あいさつ》



「はぐくむ夢」「伸び行く夢」「羽ばたく夢」学校教育目標にある。一人ひとりを大事にする教育をされていることに感謝。生徒が夢に向かって心動かされ立ち向かっていく高校生活ができることを望む。先生方には、厳しくも温かいご指導をお願いしたい。式場の皆の心身に沁み渡り、身の引き締まるごあいさつ。思わず背筋を伸ばして聴き入ったと、中島会長談。

《中島瑞枝同窓会長祝辞(全定生徒全員に配布したメッセージより)》

卒業生に高校生活を振り返っていただいた言葉から

- 思い切っているいろいろな事に挑戦したので充実していた。沢山笑った。泣いた。怒った。ケンカもした。過ぎてみるとどれも良い思い出。（本気でいろいろな事に挑戦することの大切さを笑顔で語ってくれた。）
- 1年時、なんとなく過ごしたことを反省。2年目から、達成感が味わいたく、小さな目標をノートに書き、一つずつクリア。結果、1年時には考えなかった大学受験という道が見えてきた。出来るようになる自信になり、一段上の夢を持って努力しようと思え、大きな夢を掴むことができた。（取り組み方を自ら生み出した点、真似たい姿勢）
- 卓球を続けたく定時制に入学。1か月後に東信大会出場。負けて悔しく、練習方法を見直した。全日制の卓球部と一緒に練習したく顧問の先生に願い出る。結果、2年時東信大会優勝。顧問の先生・部員に感謝。（負けや失敗をバネに、さらに自ら高みを目指し、強く、優しく成長された。他にも主体的に活躍）皆さんは、本校でどんな楽しさや充実感を味わうことができるでしょうか。何事にも本気で取り組み、楽しさを感じずるまでやり遂げ、有意義な高校生活を送って欲しい。

新型コロナウイルスがなかなか収まらない中、今年も第1回理事・支部長会が中止となりました。今後の感染状況によっては、今後の行事についても延期・中止等変更になる場合もあります。